



津波防災の日

校長

東日本大震災における旭市の被害

2011年3月11日午後2時46分、マグニチュード9.0の巨大地震が発生し、旭市でも震度5強を観測しました。その後発生した大津波などにより、16人もの死者及び行方不明者をもたらし、その他にも液状化現象による道路や建物の損壊、原発事故による風評被害が旭市を襲いました。

津波防災の日とは

平成23(2011)年6月に、津波対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とした「津波対策の推進に関する法律」が制定されました。この法律では、津波対策に関する観測体制強化、調査研究推進、被害予測、連携協力体制整備、防災対策実施などが規定されています。そして、国民の間に広く津波対策についての理解と関心を深めるために、11月5日を「津波防災の日」とすることが定められました。

11月5日は、今から160年前の安政元年11月5日(太陽暦では、1854年12月24日)に発生した安政南海地震で、紀州藩広村(現在の和歌山県広川町)を津波が襲った時、濱口梧陵(儀兵衛)が稲むら(取り入れの終わった稲わらを屋外に積み重ねたもの)に火をつけて、村人を安全な場所に誘導したという実話にちなみます。(内閣府HPから)

11月2日(水)に緊急地震速報の訓練を実施しました。

地震はいつ起きるか分からないことから、どのような場所において、どのような強い揺れにあうかもわかりません。あわてずに身を守る行動を起こすためには、その場その時に合わせてどのような行動を取るべきかをあらかじめ知り、行動している自分を想像しておくことが大切です。また、その想像をもとに実際に行動をとり経験することが重要です。

「シェイクアウト訓練」という2008年にアメリカで始まった地震防災訓練も注目されています。

これは、指定された日時に、地震から身を守るための3つの安全行動(①姿勢を低く、②頭を守って、③揺れが収まるまでじっとする)を各人がいる場所(職場、学校、外出先等)で約1分間行うというものです。



本校では、定期的に「ワンポイント避難訓練」を実施しています。

緊急放送等により、第一次避難行動(左記のシェイクアウト行動)をとること、もしくは避難経路の確認まで行い、時と場に応じて自分の命を守る方法を身に付けることを目指しています。

運動会「優勝し、笑顔のトロフィーつかみ取ろう！」

10月22日（土）に、秋季大運動会を実施しました。秋晴れの下、子どもたちは真剣に競技に参加し、熱戦を繰り広げました。



保護者の皆様には、コロナ禍による感染防止対策として、各家庭保護者1名の参観をお願いしました。皆様のご協力に感謝いたします。PTA 役員の皆様（本部、体育や広報委員会）、救護ボランティアの方々も、ありがとうございました。

安全・安心な生活のために

10月31日（月）に防犯教室、11月2日（水）には、ワンポイント避難訓練を行いました。

防犯教室では、千葉県警察本部北総地区少年センターから講師を招き、不審者から身を守るために気をつけることや、防犯ブザーの確認や行動について学びました。

ワンポイント避難訓練では、防災無線放送をよく聞いて、避難行動をとり、安全な行動について振り返りました。



2年町探検

10月27日（木）に、2年生は生活科の学習として、「町探検」に出かけました。

学区のさまざまな施設や店舗を巡り、地元の魅力について十分学習できました。

ボランティアとして、多くの保護者の方にご協力いただき、ありがとうございました。



秋を感じて・・・

樹木に囲まれた本校は、秋には落ち葉掃きで一苦労です。

外掃除当番は、落ち葉の山に汗をかきかき奮闘中。



6年生は登校後の朝の時間に、有志で落ち葉掃きのボランティア活動を実施しています。登校してくる下学年児童に「おはよう。」と声をかけながらの作業風景に、こ



のような伝統を引き継いでいってほしいと思います。

ホームページでは、学校だよりをカラーで御覧いただけます。

<http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/es-asahichuou/ichiran/index.html>